

ご意見を今後の市政に

第3回市政に関する意識調査

【調査の内容】
調査期間 7月17日（水）～7月31日（水）
調査対象 市内在住の18歳以上の個人3,000人
 （地域別人口割合を考慮した無作為抽出）
調査方法 郵送配布・郵送回収またはインターネット回答
調査項目 市の魅力、定住意向、暮らしの満足度、市政への関心、施策の重要度、市民自治、広報紙等へのご意見 など

年代別による回答状況

回答率は、図1のとおり前回よりも57名多い39.5%（1184人）となりました。なお、インターネットによる回答率は10.3%（122人）でした。

図1 年代別の回答者数

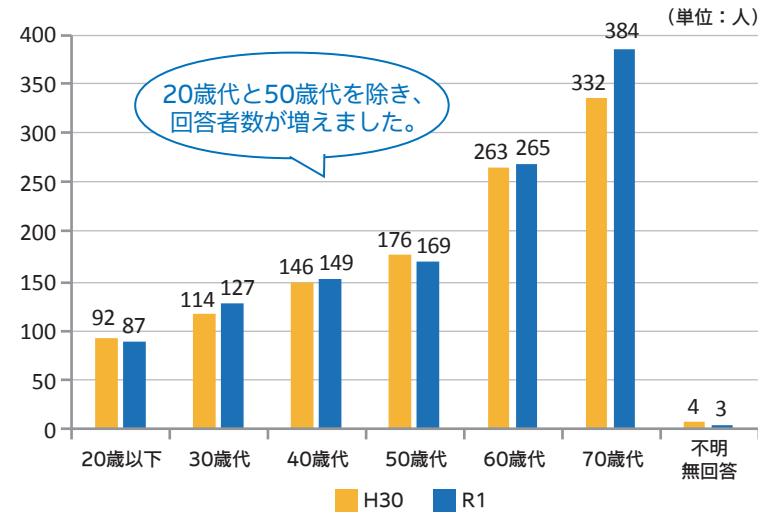
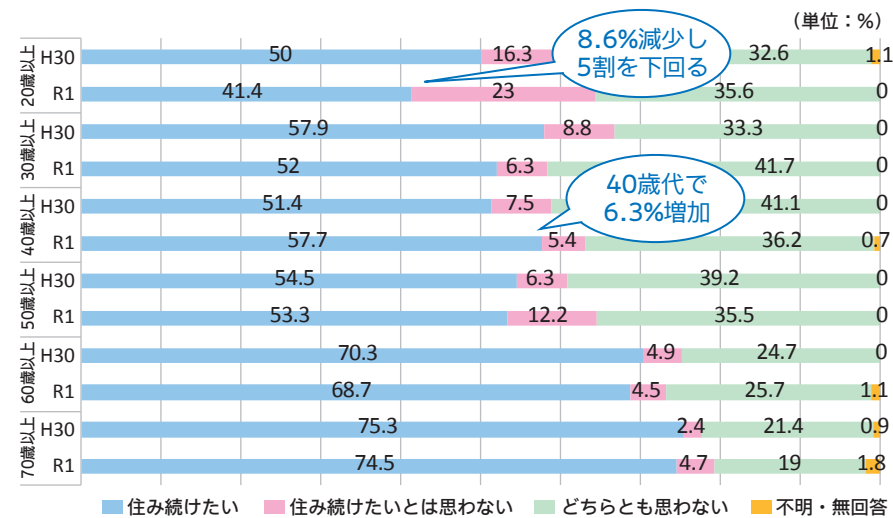


図2 甲賀市に住み続けたいですか?(年代別)



1 甲賀市への定住意向が40歳代で6.3%増加

図2は、年代別での結果です。40歳代では「住み続けたい」と回答された割合が昨年より6.3%増加しましたが、それ以外の年代では、全て減少しています。理由は年代によりさまざまと考えられますが、未来の甲賀市を担うことになる20歳代以下の割合が5割を下回るといった課題も出てきています。

主な調査結果

市政について市民の方のご意見や評価を統計的に把握し、今後の市政の基礎資料として活用することを目的に毎年意識調査を実施しています。3,000人の方に郵送でご協力をお願いしたところ、1,184人の方からご回答をいただきました。（回答率39.5%）

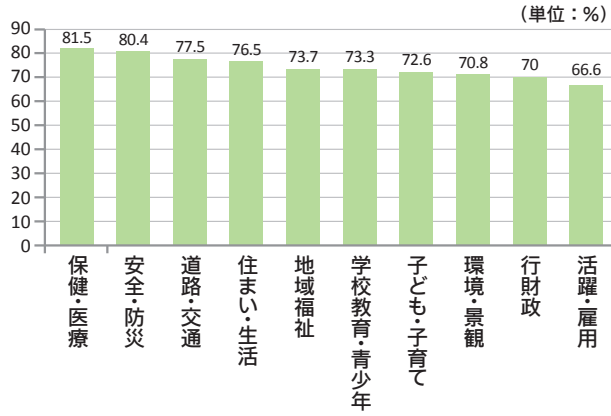
ご協力をいただきました皆さんありがとうございました。第3回となる今回の調査結果について、その一部をお知らせします。

2 「保健・医療」「安全・防犯」「道路・交通」が上位

「まちづくりの重要度」

図3は、これからのまちづくりに何が重要かを尋ねたものです。上位3位には健康や医療対策をはじめ、近年多発する台風や大雨による大規模災害、交通死亡事故への対策、公共交通の充実などが重要であると考える方が多い結果となっています。以降は保育や子育てへの支援、学校教育などに関する内容や、日々の暮らしへの安心安全にも関心が高まっていることが伺えます。

図3 これからのまちづくりに重要なものは?



3 新聞購読世帯は約7割

図4 新聞を購読していますか?

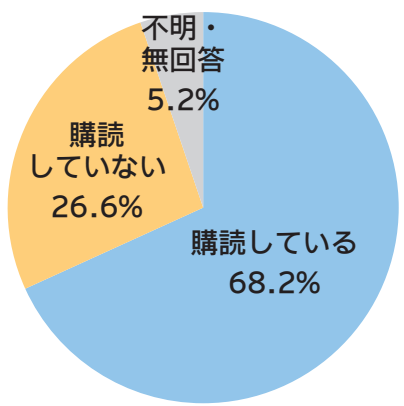
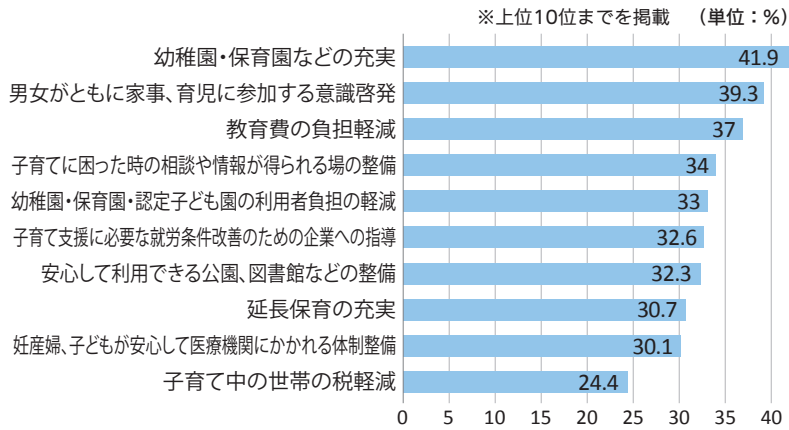


図4は、新聞購読の有無について尋ねたものです。約3割弱の方が新聞を購読されておらず、インターネット社会がますます進む今後は、より一層未購読者が増えることが予想されます。

図5(下)は子育てに関して市が取り組むべきことを尋ねたものです。幼稚園・保育園などの充実はもちろんですが、男性と女性とともに家事や育児に参加していく意識啓発が第2位となったことが特徴です。

図6(下)は現在のごみの分け方について尋ねたものです。現状のままでよいとした方が約7割と大半ですが、分別は高齢者には大変といった声もあり分け方をもっと簡単にしてほしいという方も約2割おられる結果となりました。

図5 子育て支援に市が取り組むべきことは?



4 寄せられたさまざまなご意見

自由記述欄に寄せられたご意見の中からいくつか紹介します。

○住み続けたい理由

- ・ 大きな自然災害が少ない
- ・ 自然が豊かである

○移住したい理由

- ・ 古いしきたりがある

○甲賀市として取り組むべきこと

- ・ 母子、父子家庭への支援
- ・ 若者の定住対策

○多文化共生への取り組み

- ・ 区や自治会などの行事へ参加してもらい地域のルールを知ってもらう

○広報紙に対して

- ・ コンビニにも置いてほしい

○ごみ出しに対して

- ・ ルールを守らない人が多い
- ・ 今はできるが、高齢者は大変

皆さんからいただきましたご意見を参考に、今後の市の取り組みに活用させていただきます。

※「市政に関する意識調査」の結果は市ホームページに掲載しています。また、旧支所である各地域市民センターおよび図書館で閲覧いただけます。